

## 令和6年度 札幌市交通事業 決算の概要

### 軌道整備事業会計

1 決算総括表	1 頁
2 決算総括表 [上下合算] 参考	2 頁
3 主要事業	3 頁
4 財政状況の推移	4 頁

### 高速電車事業会計

1 決算総括表	5 頁
2 主要事業	6 頁
3 財政状況の推移	7 頁

札幌市交通局

# 1 決算総括表

路面電車

(軌道整備事業会計)

(単位：千円、税込)

区分	収 入			支 出				収 支 差 引			
	項 目	予算額 (A)	決算額 (B)	差引 (B-A)	項 目	予算額 (C)	決算額 (D)	不用額 (C-D)	予算額 (A-C)	決算額 (B-D)	好転額又は 悪化(△)額
当年度収入及び支出	営業収益	879,000	853,574	△ 25,426	営業費用	1,683,000	1,514,661	168,339	△ 804,000	△ 661,087	142,913
	施設使用料収入	876,000	851,165	△ 24,835	人件費	133,000	106,551	26,449			
	その他収入	3,000	2,409	△ 591	経費	673,000	531,139	141,861			
					減価償却費	877,000	876,971	29			
	営業外収益	763,000	732,040	△ 30,960	営業外費用	37,000	24,366	12,634	726,000	707,674	△ 18,326
	長期前受金戻入	647,000	639,178	△ 7,822							
	その他収入	116,000	92,862	△ 23,138							
					予備費	5,000	0	5,000	△ 5,000	0	5,000
	小計	1,642,000	1,585,614	△ 56,386	小計	1,725,000	1,539,027	185,973	△ 83,000	46,587	129,587
	特別利益	6,000	24,824	18,824	特別損失	0	0	0	6,000	24,824	18,824
計	1,648,000	① 1,610,438	△ 37,562	計	1,725,000	② 1,539,027	185,973	△ 77,000	③ 71,412	148,412	
資本的収入及び支出	企業債	700,000	341,000	△ 359,000	建設改良費	2,475,081	1,904,843	570,238	純損失(税抜)	純利益(税抜)	差引(税抜)
	負担金	1,734,230	1,416,673	△ 317,557	企業債償還金	237,000	236,092	908	△ 138,000	④ 29,744	167,744
					他会計借入金償還金	76,000	76,000	0			
					予備費	10,000	0	10,000		⑦	
計	2,434,230	⑤ 1,757,673	△ 676,557	計	2,798,081	⑥ 2,216,935	581,146	△ 363,851	△ 459,262	△ 95,411	
当年度分損益勘定留保資金等	377,000	243,424	△ 133,576					377,000	243,424	△ 133,576	
合計	4,459,230	3,611,535	△ 847,695	合計	4,523,081	3,755,961	767,120	△ 63,851	△ 144,426	△ 80,575	
過年度分内部留保資金	627,752	627,752	0					627,752	627,752	0	
総計	5,086,982	⑧ 4,239,287	△ 847,695	総計	4,523,081	⑨ 3,755,961	767,120	563,901	⑩ 483,326	△ 80,575	

※ 6年度決算における営業収益・その他収入の内訳は、土地物件賃貸料2,394千円、雑収益15千円である。

※ 6年度決算における営業外収益・その他収入の内訳は、一般会計補助金5,688千円、一般会計負担金74,000千円、雑収益13,140千円消費税及び地方消費税還付金34千円である。

※ 決算額の当年度分損益勘定留保資金等は減価償却費876,971千円と固定資産除却費24,607千円、長期前受金戻入△639,178千円、長期借入金流動負債計上額等3,000千円、引当金計上及び取崩額等の資金調整額△21,976千円を加えたものである。

※ 一般会計からの長期借入金の期末残高は、539,000千円である。

※ 表中の数値は、各係数ごとの四捨五入で表示しているため、合計値とは一致しない場合がある。

(長期借入金残高539,000千円を除く) ⇒ ⑨ △ 55,674

## 2 決算総括表 [上下合算] (参考)

## 路面電車

### ㊦ 軌道整備事業

※交通局

### ㊧ 軌道運送事業

※(一財)札幌市交通事業振興公社

### ㊩ 軌道運送事業 + ㊦ 軌道整備事業

項 目		6年度 決算	
経常 収入	施設使用料	851,165	
	その他収入	2,409	
	計	853,574	
	経常 支出	人件費	106,551
		経費	531,139
		維持管理費	458,097
		技術継承等負担金	22,295
		その他	50,746
	減価償却費	876,971	
	計	1,514,661	
	営業外 収入	732,040	
	営業外 支出	24,366	
	予備費	0	
差引	46,587		
特別利益	24,824		
特別損失	0		
収益的 収支差引	71,412		
資本 的 収入	企業債	341,000	
	負担金	1,416,673	
	計	1,757,673	
	資本 的 支出	建設改良費	1,904,843
		企業債償還金	236,092
		他会計借入金償還金	76,000
予備費		0	
計	2,216,935		
資本的 収支差引	△459,262		
当年度分 損益勘定留保資金等	243,424		
過年度分 内部留保資金	627,752		
合計	483,326		
長期借入金(残高)	539,000		

項 目		6年度 決算
経常 収入	乗車料収入	1,661,956
	広告料収入	57,405
	計	1,719,360
経常 支出	人件費	581,461
	経費	636,626
	施設使用料	851,165
	計	2,069,252
	維持管理費	458,097
営業外 収入	技術継承等負担金	22,295
	その他	13,344
	計	493,736
営業外 支出	56,943	
予備費	0	
差引	86,902	
経常外 収益	0	
経常外 費用	7,420	
収益的 収支差引	79,482	
過年度分 内部留保資金	△72,834	
合計	6,647	

項 目		6年度 決算	
経常 収入	乗車料収入	1,661,956	
	広告料収入	57,405	
	その他	2,409	
	計	1,721,769	
	経常 支出	人件費	688,012
		経費	687,372
		減価償却費	876,971
		計	2,252,355
	営業外 収入	745,384	
	営業外 支出	81,309	
予備費	0		
特別利益	24,824		
特別損失	0		
経常外 収益	0		
経常外 費用	7,420		
収益的 収入	① 2,491,977		
収益的 支出	② 2,341,084		
収益的 収支差引	③ 150,893		
資本 的 収入	企業債	341,000	
	負担金	1,416,673	
	計	1,757,673	
	資本 的 支出	建設改良費	1,904,843
		企業債償還金	236,092
他会計借入金償還金		76,000	
予備費		0	
計	2,216,935		
資本的 収支差引	△459,262		
当年度分 損益勘定留保資金等	243,424		
過年度分 内部留保資金	554,918		
合計	④ 489,973		
長期借入金(残高)	539,000		

※1 施設使用料、維持管理費及び技術継承等負担金は、相殺している。

※2 表中の数値は、各係数ごとの四捨五入で表示しているため、合計値とは一致しない場合がある。

# 3 主要事業

## 路面電車

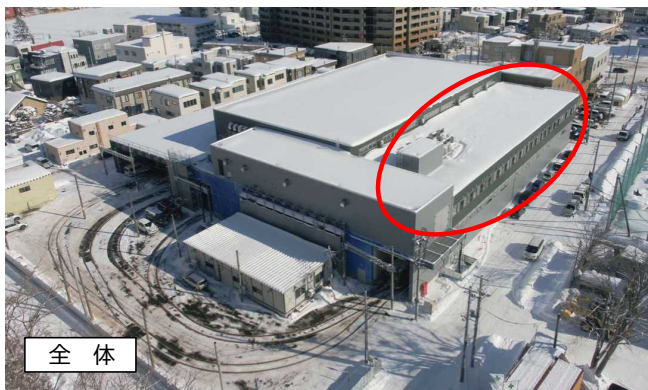
### <車両基地改良事業等>

- 電車事業所改良建築工事等：R6決算1,239百万円  
車庫の拡張、耐震化のため、車庫・工場棟の建て替えを行うとともに、事務所棟も合築し一体整備。

【R6年度の主な実施箇所】

- ・工場・事務所棟の新築、事務所の移転、軌道及びピット整備等

工場・事務所棟の新築



全体

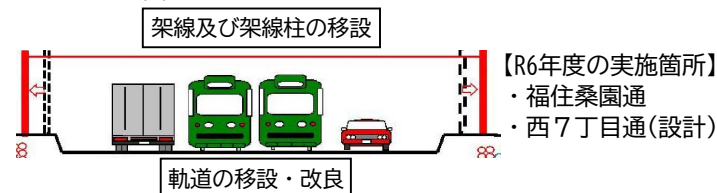


正面

### <軌道更新・街路拡幅関連事業等>

- 街路拡幅に伴う軌道改良及び停留場改修：R6決算123百万円
- 街路拡幅に伴う電気設備工事：R6決算87百万円  
街路拡幅工事に伴う、架線、架線柱及び軌道の移設等。

※イメージ図

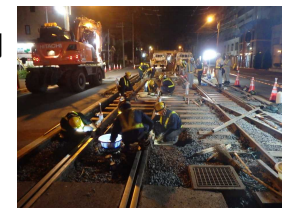


【R6年度の実施箇所】  
・福住桑園通  
・西7丁目通(設計)

- 軌道更新事業：R6決算7百万円  
曲線部のレール、枕木及び道床や分岐器を更新。

【R6年度の実施箇所】

- ・電車事業所前分岐器(材料購入)



### <車両関係事業>

- 低床車両製造：R6決算326百万円

令和6年度以降は、従来の低床車両と比較して乗車スペースを広げ、輸送力を増強(シリウス60人→75人)させた新型低床車両(ポラリスII)を導入。



【導入計画】

- ・R6～10年度：5両(各年度1両ずつ導入予定)
- ・R10年度には、全36両のうち18両が低床車両となる予定

- 保安フットブレーキ改修：R6決算25百万円

不用意に運転位置を離れた際、自動でブレーキを動作させるための改修。



- 既存車両改良：R6決算22百万円

8500形車両の主電動機及び駆動装置を更新。



既存車両(8500形)

- 除雪車両用部品購入：R6決算15百万円

雪11号車の輪軸部品を更新。

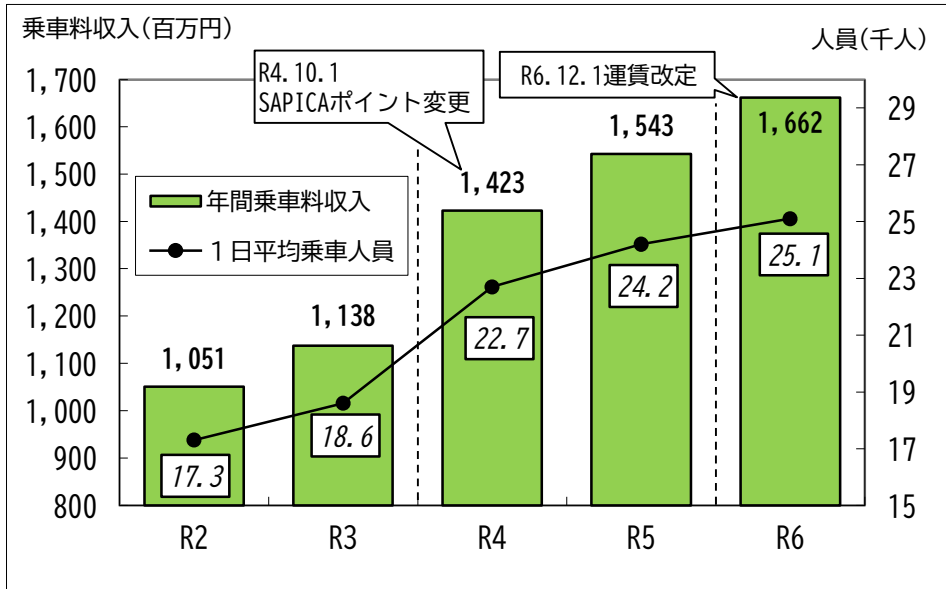


除雪車両(雪11号車)

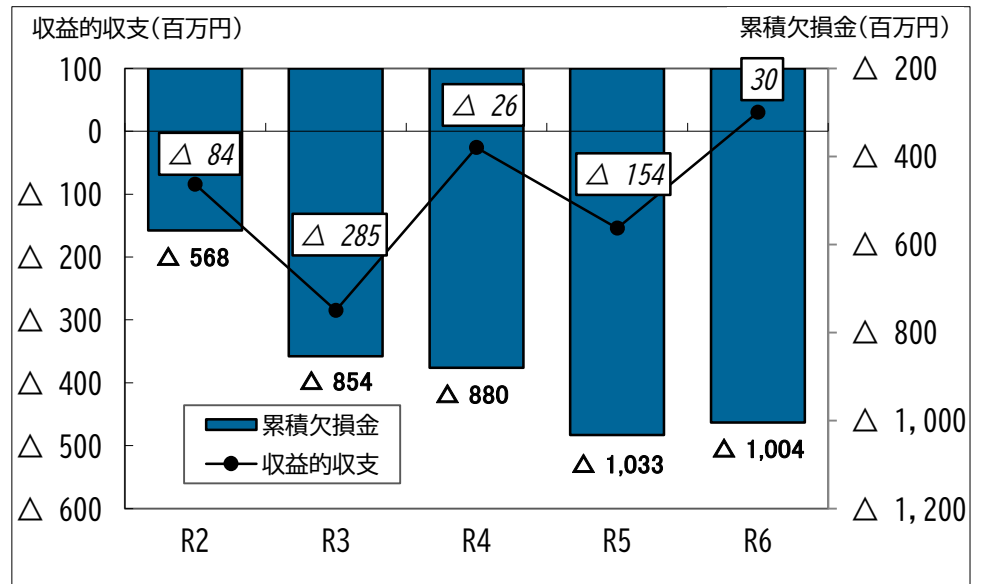
# 4 財政状況の推移

## 路面電車

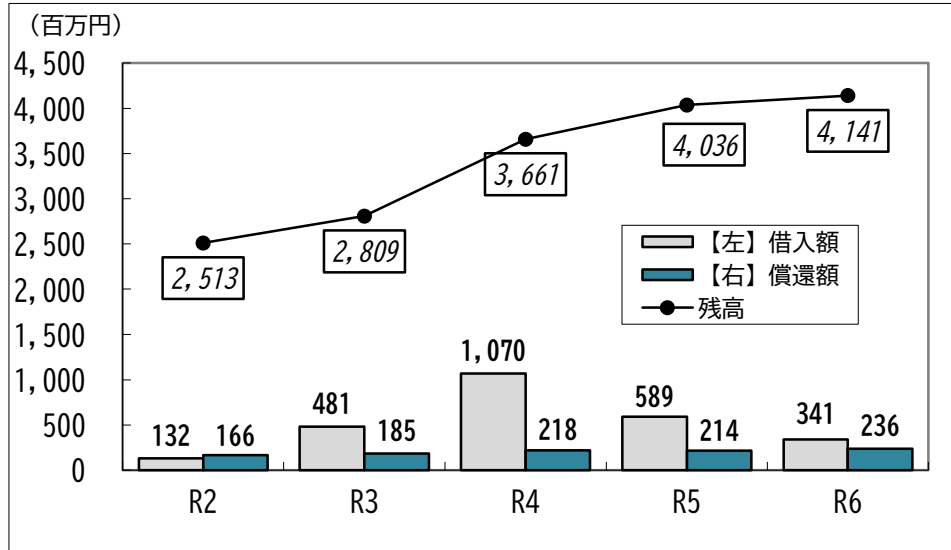
■ (参考) 1日平均乗車人員及び年間乗車料収入(税込)



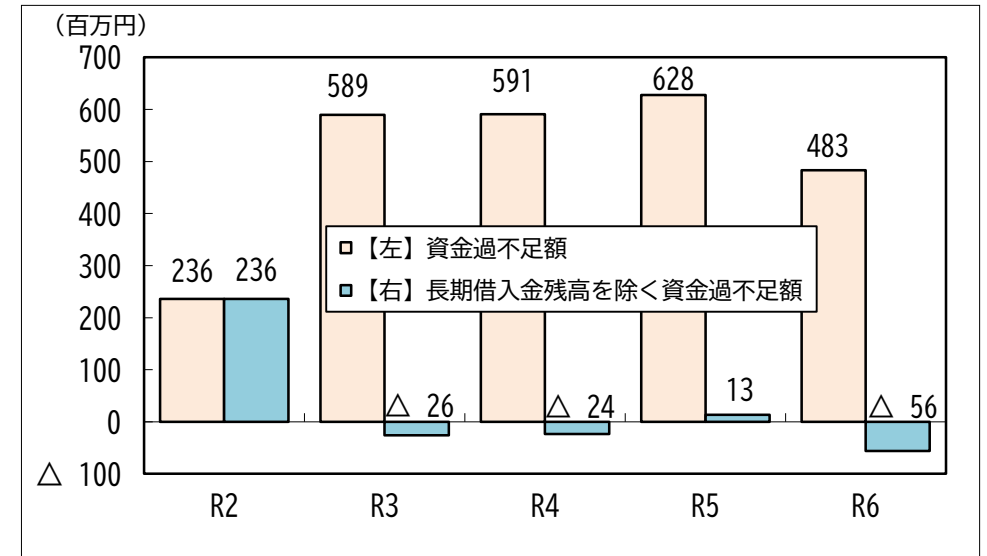
■ 収益的収支及び累積欠損金 (税抜)



■ 企業債 (借入額・償還額・残高)



■ 資金の状況



# 1 決算総括表

地下鉄

(高速電車事業会計)

(単位：千円、税込)

区分	収 入				支 出				収 支 差 引		
	項 目	予算現額 (A)	決算額 (B)	差引 (B-A)	項 目	予算現額 (C)	決算額 (D)	不用額 (C-D)	予算現額 (A-C)	決算額 (B-D)	好転額または 悪化(△)額
当年度分 収入及び支出	営業収益	45,270,000	47,372,315	2,102,315	営業費用	40,059,000	37,582,904	2,476,096	5,211,000	9,789,411	4,578,411
	乗車料収入	42,354,000	44,383,405	2,029,405	人件費	4,800,000	4,585,235	214,765			
	広告料収入	1,155,000	1,233,443	78,443	経費	19,907,000	17,888,590	2,018,410			
	その他収入	1,761,000	1,755,467	△ 5,533	減価償却費	15,352,000	15,109,079	242,921			
	営業外収益	5,570,000	5,461,463	△ 108,537	営業外費用	3,623,000	3,867,332	△ 244,332	1,947,000	1,594,130	△ 352,870
	長期前受金戻入	3,613,000	3,571,109	△ 41,891							
	その他収入	1,957,000	1,890,353	△ 66,647							
	予備費				予備費	40,000	0	40,000	△ 40,000	0	40,000
	小計	50,840,000	52,833,778	1,993,778	小計	43,722,000	41,450,236	2,271,764	7,118,000	11,383,541	4,265,541
	特別利益	0	0	0	特別損失	18,000	0	18,000	△ 18,000	0	18,000
計	50,840,000	① 52,833,778	1,993,778	計	43,740,000	② 41,450,236	2,289,764	7,100,000	③ 11,383,541	4,283,541	
資本的 収入及び支出	企業債	13,994,000	6,123,000	△ 7,871,000	建設改良費	20,852,845	10,968,705	9,884,140	純利益(税抜) ↓ 5,688,000	純利益(税抜) ↓ ④ 10,403,413	差引(税抜) ↓ 4,715,413
	出資金	2,761,000	1,114,000	△ 1,647,000	企業債償還金	16,943,000	16,940,903	2,097			
	国庫補助金	1,769,396	126,485	△ 1,642,911	予備費	20,000	0	20,000			
	他会計補助金	2,264,002	652,155	△ 1,611,847							
	負担金	292,158	361,079	68,921							
	計	21,080,556	⑤ 8,376,720	△ 12,703,836	計	37,815,845	⑥ 27,909,608	9,906,237	△ 16,735,289	⑦ 19,532,888	△ 2,797,599
当年度分損益勘定留保資金等	11,677,131	11,542,301	△ 134,831					11,677,131	11,542,301	△ 134,831	
合計	83,597,687	72,752,798	△ 10,844,889	合計	81,555,845	69,359,844	12,196,001	2,041,842	3,392,954	1,351,112	
過年度分内部留保資金	3,506,893	3,506,893	0					3,506,893	3,506,893	0	
総計	87,104,580	⑧ 76,259,691	△ 10,844,889	総計	81,555,845	69,359,844	12,196,001	5,548,735	⑧ 6,899,846	1,351,112	

※ 6年度決算における営業収益・その他収入の内訳は、土地物件賃貸料1,409,560千円、構内営業料230,669千円、雑収益115,238千円である。

※ 6年度決算における営業外収益・その他収入の内訳は、受取利息及び配当金743千円、国庫補助金1,020千円、一般会計補助金1,483,063千円、受託工事収益280,211千円、雑収益125,316千円である。

※ 決算額の当年度分損益勘定留保資金等は減価償却費15,109,079千円、固定資産除却費263,292千円、長期前受金戻入△3,571,109千円、引当金計上額及び取崩額等の資金調整額△258,961千円を加えたものである。

※ 6年度決算の地方財政法上の資金不足額は、総計6,899,846千円から特別減収対策企業債残高17,930,000千円を差し引いた額11,030,154千円である。

※ 表中の数値は、各係数ごとの四捨五入で表示しているため、合計値とは一致しない場合がある。

## 2 主要事業

## 地下鉄

### <老朽化対策>

- 南車両基地改築ほか工事  
:R6決算1,057百万円  
(~R15※総事業費396億円)



- エスカレーター更新工事:R6決算685百万円  
【R6年度実施箇所】  
南郷7丁目駅、南郷13丁目駅  
ひばりが丘駅、北13条東駅



- 冷暖房機器更新事業:R6決算742百万円
- 大谷地変電所更新:R6決算335百万円
- 東豊線電力管理システム更新:R6決算320百万円

### <バリアフリー化>

- 旅客用トイレ改良工事  
:R6決算332百万円  
【R6年度実施箇所】  
新さっぽろ駅、東西線大通駅、月寒中央駅



- 車両とホームの段差隙間縮小に向けたホーム改良工事:R6決算75百万円  
【R6年度実施箇所】  
栄町駅、新道東駅、元町駅、環状通東駅  
【今後の計画】 R7年度:24駅、R8年度:21駅  
※令和8年度で全駅完了予定



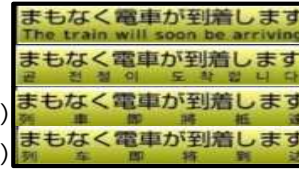
### <多言語対応>

- 案内表示設備更新工事:R6決算522百万円



・多くの外国人旅行者の利便性の向上を図るため、駅ホーム及びコンコースの案内表示設備を、LCD(液晶)化・多言語表記に改修。

英  
韓  
中(繁)  
中(簡)



#### 【更新計画】

R4年度:2駅 R5年度:11駅  
R6年度:12駅 R7年度:10駅  
(令和7年度で南北線・東西線全駅完了予定)  
※東豊線全駅はH27年度までにLED化・2言語表記対応済

- 吊下電照標識更新工事  
:R6決算59百万円
- ホーム案内板の統一  
:R6決算22百万円
- 駅出入口電照標識更新工事  
:R6決算4百万円



### <新設・機能向上>

- クレジットカードタッチ決済対応に係る改修費:R6決算361百万円



- 東豊線車内防犯カメラ設置  
:R6決算10百万円



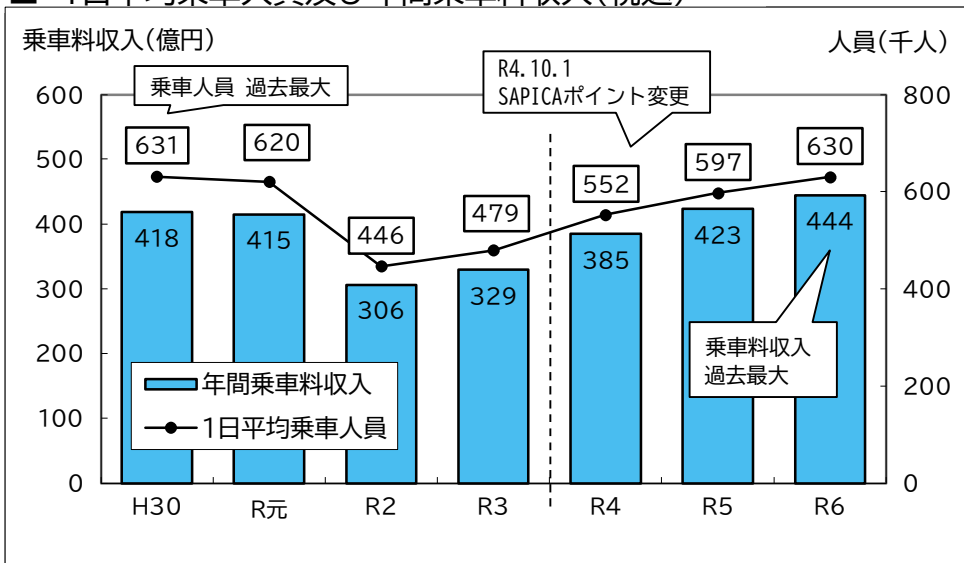
#### 【全線への設置計画】

東豊線:令和6~8年度(R6:3編成)  
南北線:令和7~9年度  
東西線:令和7~9年度

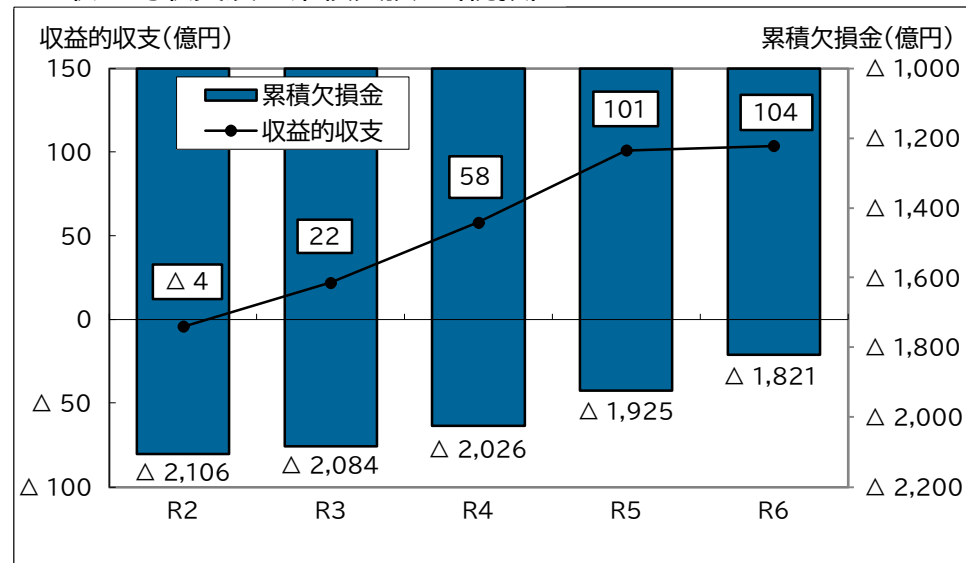
### 3 財政状況の推移

### 地下鉄

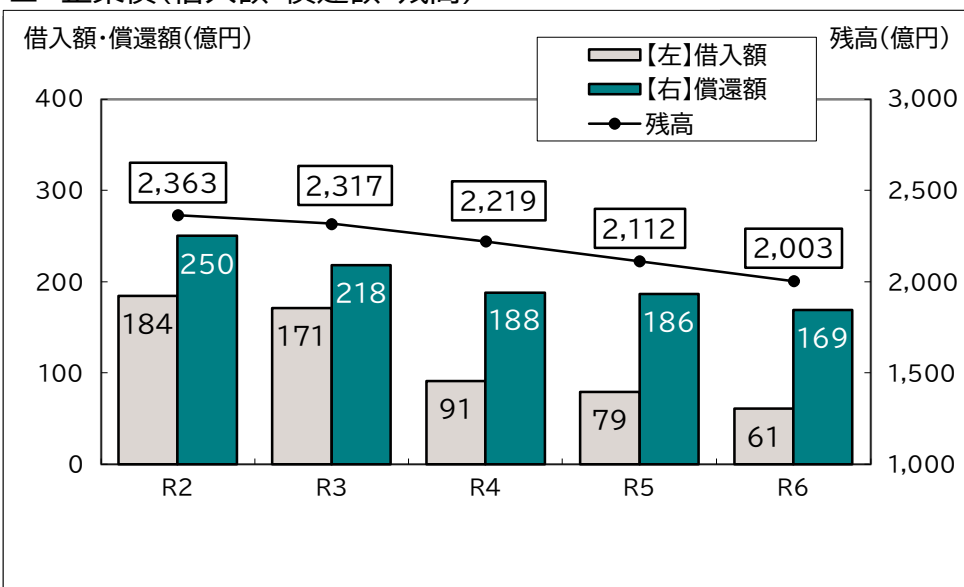
■ 1日平均乗車人員及び年間乗車料収入(税込)



■ 収益的収支及び累積欠損金(税抜)



■ 企業債(借入額・償還額・残高)



■ 資金の状況

